

伊丹市ボートレース事業局公営企業会計システム構築業務
プロポーザル実施要領

令和4年12月

伊丹市ボートレース事業局

1. 趣旨

この実施要領は、伊丹市ボートレース事業局公営企業会計システム構築業務の実施にあたり、伊丹市ボートレース事業局（以下「本局」という。）が実施する公募型プロポーザル（以下「本プロポーザル」という。）に参加しようとする者（以下「参加者」という。）が熟知し、かつ遵守しなければならない一般的事項を明らかにするものである。

2. 本プロポーザルの目的

伊丹市モーターボート競走事業会計において、健全でより効率的な事業運営を行うために、新たな公営企業会計システムを導入することを目的として、業務経験・企業能力・業務提案等を評価して選定する公募型プロポーザル方式を採用し、総合的な評価を行う。

3. 委託概要

(1) 委託名

伊丹市ボートレース事業局公営企業会計システム構築業務

(2) 履行場所

尼崎市水明町199-1

(3) 履行期間

契約締結日から令和 11 年 3 月 31 日まで

(4) 業務内容

別紙「伊丹市ボートレース事業局公営企業会計システム構築業務仕様書」及び「電子決裁システム環境構築業務仕様書」のとおり

(5) 提案上限額

総額 金 35,000,000 円（消費税及び地方消費税相当額を含む。）

4. 参加資格要件

参加者は、次の全ての要件を満たしていること。

- (1) 令和 4 年度伊丹市入札参加資格者名簿に登録されていること。又は令和 6 年 4 月 1 日までに、登録手続きを完了できていること。
- (2) 地方自治法施行令(昭和 22 年政令第 16 号)第 167 条の 4 の規定に該当しないこと。
- (3) 会社更生法(平成 14 年法律第 154 号)に基づく更生手続開始の申立て、又は民事再生法(平成 11 年法律第 225 号)に基づく再生手続開始の申立てがなされていないこと。
- (4) 伊丹市ボートレース事業局入札参加資格制限基準に基づく入札参加資格制限又は伊丹市ボートレース事業局入札参加停止基準に基づく入札参加停止措置を受けていないこと。令和 4 年度伊丹市入札参加資格者名簿に登録されていないものについては、伊丹市ボートレース事業局入札参加資格制限基準又は伊丹市ボートレース事業局入札参加停止基準に抵触していないこと。

- (5) 国税又は地方税を滞納していないこと。
- (6) 伊丹市暴力団排除条例第 2 条第 1 号に規定する暴力団及び同条第 2 号に規定する暴力団員並びに同条第 3 号に規定する暴力団員密接関係者でないこと。
- (7) 直接的且つ恒常的な(参加申込み日以前に 3 ヶ月以上)雇用関係を有する管理技術者及び担当技術者を配置できること。本業務における管理技術者及び担当技術者とは、次の者とする。
 - ① 管理技術者・・・業務従事者を監督し、本業務の総括を行う者。担当技術者との兼務でないこと。
 - ② 担当技術者・・・公営企業会計システムの構築・改修に関して、豊富な専門知識を有しており、本業務の遂行における技術上の管理を司る者。折衝・調整能力、合意形成能力に優れ、情報収集・活用能力に優れていること。

5. 参加者の受付

参加者は、次の手続きにより申込むこと。

(1) 提出書類

- ① 参加表明書兼誓約書(様式 1)
- ② 会社概要(様式 2)
- ③ 業務実績調書(様式 3)
- ④ 配置予定技術者兼業務体制調書(様式 4)
- ⑤ 配置予定技術者調書(様式 5)
- ⑥ 審査結果通知用封筒 1 枚(長形 3 号、送付先を記載し、84 円切手を貼付したもの)
- ⑦ 添付資料
 - A) 直近 3 年(半年決算の場合は 6 期分)の財務諸表(貸借対照表、損益計算書、注記)
 - B) 最新年度の納税証明書(様式その 3 の 3・「法人税」及び「消費税及び地方消費税」について、未納税額のない証明用で発行日から 3 ヶ月以内のもの)
 - C) 履歴事項全部証明書(発行日から 3 ヶ月以内のもの)
 - D) 業務実績確認書類(履行証明書又は契約書の写し等及び仕様書等委託概要の詳細が確認できる書類の写し)
 - E) 配置予定技術者兼業務体制調書の記載事項確認書類(雇用関係を証明する書類(健康保険被保険者証の写し等)、業務実績確認書類(履行証明書又は契約書の写し等、仕様書等委託概要の詳細が確認できる書類の写し及び配置予定技術者届等))

(2) 提出部数

6 部(正本 1 部・副本 5 部)

(3) 提出期間

令和 4 年 12 月 15 日(木)から令和 5 年 1 月 12 日(木)午後 1 時まで、必着とする。

(4) 提出方法

郵送(簡易書留郵便)又は持参(土曜・日曜・祝祭日を除く。最終日を除き、午前 9 時から午後 5 時まで)によること。

(5) 提出先

〒660-0082 兵庫県尼崎市水明町 199-1
伊丹市ボートレース事業局 総務課 宛

(6) 書類様式

- ① 各様式は、本局のホームページからダウンロードすること。
- ② 書類の作成にあたっては、伊丹市ボートレース事業局公営企業会計システム構築業務企画提案書等作成要領に沿って提出すること。
- ③ 書類作成費用は参加者の負担とし、提出された書類は返却しない。

6. 仕様書等に関する質疑及び回答

本プロポーザルに関する質問は、「参加表明書兼誓約書(様式 1)」の提出のあった参加者からのみ受け付ける。また、内容は提案書等の提出書類又は本業務仕様書等業務実施内容に関する事項に限ることとし、評価及び審査に関する質問や提案内容に関する質問は回答しない。

なお、質問の回答を受けて参加を辞退する場合は、「辞退届(様式 10)」を提出すること。参加辞退の場合も、今後実施する本局プロポーザルへの参加制限などの不利益は生じない。

(1) 質疑書の記入事項及び留意点

- ① 質疑書には、参加者名を明記し、質疑の対象となる文書名、頁、該当項目等を記すこと。
- ② 質疑書には、意見等は記載しないこと。意見と判断される質疑には、回答しない。
- ③ 質疑事項の内容等に参加者を特定する、もしくは推測できる記載がある場合は、回答しない。
- ④ 所定様式以外で提出された質疑には、回答しない。

(2) 提出期間

令和 4 年 12 月 15 日(木)から令和 4 年 12 月 26 日(月)午後 1 時までに、必着とする。締切以降の質疑は受け付けない。

(3) 提出方法

「仕様書等に関する質疑書(様式 9)」を電子メールの添付ファイルとして本局経営企画課メールアドレス (b-somu@city.itami.lg.jp) まで送信すること。その際、送信する電子メールの件名は「② 伊丹市ボートレース事業局公営企業会計システム構築業務(質疑書)」とし、添付ファイル名は「〇〇(参加者名)(様式 9)」とすること。

(4) 回答期日及び方法

令和 5 年 1 月 10 日(火)午後 5 時までに、「参加表明書兼誓約書(様式 1)」提出者全員に電子メールにより回答をする。

7. 参加資格要件及び第一次審査

参加申込時に提出された書類について、参加資格要件及び第一次審査を実施する。参加者が多数の場合は、第一次審査の点数上位 5 位までを第二次審査の対象とする。また、審査結果は次のとおり通知する。

(1) 審査結果

「参加資格要件及び第一次審査結果通知書」により通知する。また、第二次審査対象者（以下「提案者」という。）には、「提案書提出依頼通知書」も併せて通知する。

(2) 通知方法

令和 5 年 1 月 13 日(金)午後 5 時までに、電子メールにより通知する。また、原本は同日に郵送する。

(3) 疑義申立

参加資格要件を満たしていない者又は第一次審査が不合格の通知を受けた者は、本局に対し、その理由について、令和 5 年 1 月 20 日(金)午後 5 時までに、書面により説明を求めることができる。(様式任意)

回答については、令和 5 年 1 月 23 日(月)までに、書面により行う。

8. 提案書等の作成

提案書等は、次のとおり作成すること。

(1) 提案書の書式及び記載方法

- ① 提案書の作成にあたっては、伊丹市ボートレース事業局公営企業会計システム構築業務企画提案書等作成要領に沿って提出すること。

(2) 機能要求書

- ① 提案書に綴る機能要求書は、本局が提示しているエクセルファイルを使用すること。
- ② 「対応可否欄」又は「カスタマイズ又は代替案」のうち、該当するもの 1 つに○を記載すること。「カスタマイズ又は代替案」に○を記載した場合は、別紙にてカスタマイズに係る費用、内容又はその代替案を記載すること。
- ③ 予算書及び決算書のレイアウトについては、令和 4 年度当初予算書及び令和 3 年度決算書をボートレース尼崎にて貸与するので、電話連絡（06-6419-3181）の上、来場すること。
- ④ 行の追加、削除及びセルの結合は行わないこと。行の高さの変更は可とする。
- ⑤ 機能要求書の項目のうち、どれか 1 つでも「対応不可」の回答をした場合は、システムの仕様を満たしていないものとして、失格とする可能性があるため留意すること。
- ⑥ 機能要求書のうち、事務局で回答内容に誤りがあると判断した項目の得点は無効とし、0 点とする。

- ⑦ 回答について、疑問点が生じた場合は、「10.提案書等に関する質疑及び回答」のとおりに質疑を行う。

(3) 業務工程表

提案書に綴る業務工程表は、任意様式で作成すること。

(4) 見積書の書式及び記載方法

- ① 提案書に綴る見積書は、「見積書(様式 8)」を使用すること。
- ② 見積書の後に「内訳明細書(様式任意)」も併せて提出すること。
- ③ 見積書の金額が提案上限額を超過した場合は、失格とする。

9. 提案書等の提出

提案書等は、次の手続きにより提出すること。

(1) 提出書類

- ① 提案書一式
- ② 審査結果通知用封筒 1 枚(長形 3 号、送付先を記載し、84 円切手を貼付したもの)

(2) 提出部数

6 部(正本 1 部・副本 5 部)。

(3) 提出期間

令和 5 年 1 月 13 日(金)から令和 5 年 1 月 27 日(金)午後 1 時までに、必着とする。

(4) 提出方法

5 (4)と同じ。

(5) 提出先

5 (5)と同じ。

(6) 注意事項

- ① 提案書等の提出後の変更及び修正は認めない。
- ② 書類作成費用は提案者の負担とし、提出された書類は返却しない。

10. 提案書等に関する質疑及び回答

審査期間中に各審査委員から質問や疑問点があった場合は、事務局で提案者ごとに取りまとめ、「提案書等に関する質疑書(様式 9)」(以下「質疑書」という。)を用いて令和 5 年 2 月 28 日(火)午後 5 時までに、電子メールにより照会を行う。

提案者は、令和 5 年 3 月 8 日(水)午後 1 時までに、送付した質疑書に回答を入力し、本局総務課メールアドレス (b-somu@city.itami.lg.jp) まで送信すること。その際、送信する電子メールの件名は「伊丹市ボートレース事業局公営企業会計システム構築業務(回答書)」とし、添付ファイル名は「〇〇(提案者名)(様式 9)」とすること。

11. 第二次審査

提案書の内容等について、第二次審査を実施する。また、審査結果は次のとおり通知する。

(1) 審査内容

- ①参加申込時の提出資料、提案書に対する書類審査
- ②プロジェクター等により、実際にシステム操作を参加者が行うこと等によるプレゼン形式の審査

(2) 審査日程

上記②に係る日程は、令和 5 年 2 月 1 日(水)から令和 5 年 2 月 22 日(水)の間において、各参加業者と日程調整を行い決定する。

(3) 審査結果

「最終審査結果通知書」により通知する。

(4) 通知方法

令和 5 年 3 月 17 日(金)に発送する。

(5) 疑義申立

契約候補者（以下「候補者」という。）とならなかった提案者は、本局に対し、その理由について、令和 5 年 3 月 24 日(金)午後 5 時までに、書面により説明を求めることができる。（様式任意）

回答については令和 5 年 3 月 31 日(金)午後 5 時までに、書面により行う。

12. 審査基準

第一次審査及び第二次審査は、次の要領で行う。

(1) 審査方法

審査は、第一次審査と第二次審査とに分けて行い、合計点数が最も高かった者を候補者とする。ただし、複数の提案者の点数が同点 1 位となった場合は、第二次審査の点数が高い者を候補者とする。万が一、第二次審査の点数も同点であった場合は、抽選により候補者を決定する。

(2) 評価項目

本プロポーザルの評価項目は、別紙「伊丹市ボートレース事業局公営企業会計システム構築業務における評価項目」を参照すること。

(3) 単独提案の場合

提案者が 1 者の場合も審査を行うこととし、本局の要求する基準(各評価者(5 名)の点数を合計し、当該点数の合計点が 250 点以上)を満たしているときは候補者とする。

13. 辞退

参加者及び提案者は、本局へ「辞退届(様式 10)」を提出することにより随時本プロポー

ザルへの参加及び提案を辞退することができる。この場合、今後実施する本局プロポーザルへの参加制限などの不利益は生じない。

14. 失格事項

契約が成立するまでの間において、参加者、提案者及び候補者が次のいずれかに該当することとなった場合は、失格とする。

- (1) 参加資格要件を欠くこととなった場合
- (2) 経営状況が良好でないと判断された場合
- (3) 提出書類の内容に虚偽又は不正が認められた場合
- (4) 提出書類の提出方法、提出期限、提出様式等が本要領に適合しない場合
- (5) 見積書の金額が提案上限額を超過した場合
- (6) 本プロポーザルにおいて知り得た情報を漏洩した場合
- (7) 本局に不利益が生じる事態になった場合
- (8) その他選定結果に影響を及ぼすおそれのある行為を行ったと認められる場合

15. 契約の締結

審査結果に従って、第 1 位の候補者から業務内容及び契約金額等について協議を行い、令和 6 年 4 月 1 日に随意契約の手続きを行うこととする。

ただし、この協議が不調に終わった場合は、候補者の決定を取り消し、次の順位の候補者と同様の協議を行うこととし、以下についても同様とする。

(1) 契約手続き

契約手続きは、伊丹市モーターボート競走事業の契約に関する規程において準用する伊丹市契約に関する規則に定めるところによる。

(2) 契約保証金

契約保証金は、伊丹市モーターボート競走事業の契約に関する規程において準用する伊丹市契約に関する規則第 24 条に基づき、契約金額の 100 分の 10 以上の金額とする。ただし、同規則第 25 条各号のいずれかに該当するときは、契約保証金の全部又は一部を免除することができる。

(3) 長期継続契約

本案件は、地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 234 条の 3 の規定による長期継続契約のため、翌年度以降において、この契約に係る支出予算の減額又は削除があった場合は、この契約を変更又は解除することができるものとする。

本規定によりこの契約を変更し、又は解除された場合において、契約者に損害を受けることがあっても、本局は、その損害賠償の責めを負わない。

16. 留意事項

- (1) 所定の様式は、本局のホームページからダウンロードすること。
- (2) 本プロポーザルに係る書類の作成、提出及び調査に要する一切の費用は、参加者、提案者及び候補者の負担とする。
- (3) 提出期限後の書類等の差し替え及び再提出は認めない。
- (4) 提出された書類等は、返却しない。
- (5) 提出された書類等は、必要に応じて複製することがある。
- (6) 審査会における審査及び評価の結果については、本プロポーザルの手続きの完了後に本局のホームページで公表する。
- (7) 提出された書類等は、本プロポーザル以外の目的には使用しないが、伊丹市情報公開条例に基づく公開請求があった場合は、提案書等を含めすべて公開の対象文書となる。ただし、公開によりその者の権利、競争上の地位その他利益を害すると認められる情報は非公開となる場合があるため、この情報に該当すると考える部分がある場合は、あらかじめ文書により申し出ること（様式任意）。なお、本プロポーザルの候補者選定前において、候補者決定に影響が出るおそれのある情報については、契約締結後の公開とする。
- (8) 新型コロナウイルス感染症の拡大、自然災害等が発生した場合、本局の判断で本プロポーザルを中止や中断、延期することがある。

17. 公募スケジュール

日 程	内 容
令和4年12月15日(木)	参加募集の公告
令和4年12月15日(木)～令和5年1月12日(木)	応募の受付期間
令和4年12月15日(木)～令和4年12月26日(月)	仕様書等に関する質疑書の提出期間
令和5年1月10日(火)	仕様書等に関する質疑書の回答期日
令和5年1月13日(金)	参加資格要件及び第一次審査結果通知
令和5年1月13日(金)～令和5年1月20日(金)	審査に対する疑義申立期間
令和5年1月23日(月)	疑義申立てに対する回答
令和5年1月13日(金)～令和5年1月27日(金)	提案書等の受付期間
令和5年2月1日(水)～令和5年2月22日(水)	プレゼン審査
令和5年2月28日(火)	提案書等に関する質疑書の提出期日
令和5年3月8日(水)	提案書等に関する質疑書の回答期日
令和5年3月17日(金)	最終審査結果通知
令和5年3月24日(金)	結果に対する疑義申立期間
令和5年3月31日(金)	疑義申立てに対する回答 ホームページにて選定結果の公表
令和5年4月以降	候補者との協議及び契約締結